ICT活用に向けた校内研修プラン③

児童生徒の情報活用能力の育成

情報活用能力は学習の基盤となる資質・能力の一つです。
児童生徒の情報活用能力の育成に当たっては、校内研修等を通じて児童生徒の実態や今後の取組について共通理解を図り、カリキュラム・マネジメントによって組織的・計画的に取組を進めることが大切です。

○　研修時間　50分程度

○　研修のねらい

・情報活用能力の育成について校内で共通理解を図るとともに、児童生徒の実態を踏まえ、今後の取組の見通しを明らかにする。

○　研修の準備

・児童生徒を対象に、情報活用能力に関する実態調査のアンケートやテストを実施することにより、実態を適切に把握することができます。

時間	内容・進め方	備考
３分	・運営者が、研修のねらいや進め方を説明します。	
15分	・「ICT活用『みんなで研修プログラム』」“情報活用能力の育成に向けた組織的な取組“の研修動画を視聴し、情報活用能力の育成に関する基本的な考え方を共有します。	＊研修映像は12分程度で視聴できます。
20分	・ICT活用ポータルサイトに掲載されている「学習活動の視点から見た情報活用能力一覧（参考例）」を参考にして、児童生徒の情報活用能力の実態について話し合います。	＊教科別・学年別などのグループで話し合います。 ＊事前にアンケートなどを実施した場合は、参考にしながら話し合います。
10分	・協議を踏まえ、今後の取組の方向性を確認します。	＊実践事例などを参考にしながら、授業の際に意識することなどを明らかにします。
２分	・運営者が、次回の研修内容等について説明します。	

Step up!

・研修の機会を定期的に設け、取組の成果と課題を明らかにしながら指導の充実を図ることにより、情報活用能力の育成を継続的に進めることができます。

ICT活用ポータルサイト（https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/ict-portalsite.html）上には、ICT活用について「いつでも」「どこでも」研修できるオンライン研修プログラムや、情報活用能力育成の参考となる実践事例など、豊富な資料が掲載されているので研修や授業で積極的に活用願います。